

解答

一

- 問一 A きか B まゆ
問二 エ
問三 質問さくしまう
問四 ウ
問五 謝
問六 ア
問七 ウ
問八 私はに
問九 エ

二

- 問一 要素還
問二 人間も特別ではないことがわかってしまった
問三 世界はくう前提
問四 1 要素還元法 2 自然を
問五 A 部分 B 全体
問六 人間の意識のあり方
問七 総合智の一面を担うもの
問八 個々のくさせる（ため）

三

- 問一 ア 原則 イ 普及 ウ 容易 エ 危険 オ 編集
問二 1 コスト 2 アクセス
問三 まず、文字く受できる。（享受できる）
問四 エ
問五 しかし
問六 インタくする。（用する）
問七 第三に
問八 エ
問九 従来は
問十 イ
問十一 インターネットの場合、情報は利用者のアクセス数で評価され、内容の質を保証しない。新しいネット文化では少数派も排除せず、それを支持する意見が抑圧されない風土の再構築と、個々人の鑑識眼の育成が求められる。

解説

一

問二 本文の中盤に「私はただ、このお米をどうやって炊いたのかと聞いたのです」という記述があります。また本文で述べる内容を冒頭で示唆する意味からも、選択肢エが正しいことがわかります。

問七 傍線6に「息を呑んだ。」とあります。息を呑むとは、おそれや驚きなどで一瞬息を止めることを意味します。従って正しいものは「驚きを感じている。」という表現を含む、選択肢ウとなります。

二

問六 傍線6の説明が次の段落にあります。段落の最後に「わけですね。」で終わる一文があるので、その前に原因が書かれていると考え適切な箇所を抜き出します。

問八 傍線8と一つ前の段落から「人間は基本的に人間全体のことを考えないので、科学は警告を発する」という内容を読み取ると、「同時に科学には、個々の人間に人類全体のことを思い起こさせる力が備わっています。」の一文と同じ意味であることがわかります。そこでこの部分から適切な箇所を抜き出します。

三

問六 傍線4に含まれる「均質化する方向」という言葉と、問題文の「対照的なインターネットの特性を述べた一文」という記述に注意します。本文半ばに「拡散する方向」という言葉を含みインターネットの特性を述べている一文があります。

問十 傍線部8の「玉石から玉を拾い出し、」という記述は、選択肢イの「有用なものから価値のないものまである雑多な情報の中から価値のあるものを選び取り、」の内容と合致します。